

Q&A

一般質問



まえかわ まさかず
前川 昌也 議員
市民グループ未来の会



空き家となつている 市営住宅の計画的な除却を

Q 老朽化が進み空き家となつている危険な市営住宅については、来年度以降、計画的に除却する必要があると考えるが、所見を伺う。

A 市営住宅については、建物の老朽化が進み、年々空き家も増加しています。空き家を放置することとは周辺地域の価値を下げることにもつながるため、安全性や住環境の面から検討し、除却の緊急性が高い空き家から順次、計画的に除却を進める必要があるものと考えています。来年度以降も引き続き、市営住宅及び周辺地域の安全を確保するとともに住環境を改善し、まちの魅力向上を図るため、老朽化した空き家の計画的な除却を進めていきます。
(市長)

質問の主な項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・道路整備について

市民ホール周辺の 環境整備を

Q 市民ホールの外観工事をはじめ、ホール前のトイレや周辺の歩道等を整備する必要があると考えるが、所見を伺う。

A 魅力的な空間を創出できるように新しいまちの表情を作り出すデザインとして木目調ルーバーを屋外公衆トイレ壁面に設置する予定です。また、屋外公衆トイレの設備も更新し、快適性を高めており、館内ホワイエスペースを利用し子供の遊び場としてキッズコーナーの設置を考えています。ホール前の広場については、質の高いオープンスペースを創出していきたいと考えており、周辺の歩道についても、歩道沿いの水路を廃止し、歩きやすい歩道として整備するなど、景観や通行者の安全性に配慮する中で、再整備について検討していきます。

(市長)



今後の行財政改革を どのように実施していくのか

Q 市民サービスを低下させることなく、コスト意識を持ち、経費節約に努めなければならぬが、今後の予算編成では、どのような行財政改革に取り組んでいくのか。

A 施策の選択と集中に努めていきますが、新たなまちづくりを推進するため、従来の手法に捉われず、民間事業者等の知恵や技術力、資源を最大限活用するなど、公民連携を軸とした持続可能な行政経営の推進も必要不可欠です。一方で、自主財源については、市有財産の有効活用など新たな財源の確保に向けた取組を進めていきたいと考えており、特に、ふるさと納税については、各分野において返礼品となり得る埋もれた地場産品を発掘するとともに、新規事業の構築に当たっては、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングを活用するなど、取組の拡充により財源確保に努めていきたいと考えています。



うえじょう けいすけ
植條 敬介 議員
市民グループ未来の会



坂出市観光協会の 法人化に伴う効果は

Q 法人化によって、今後期待される効果はどのようなものか。また、観光地域づくり法人(DMO)への登録の考えは。

A 法人化により、観光庁長官または県知事による旅行業の登録を受けることが可能となることから、本市への旅行企画やツアーを造成することによる着地型観光の促進や、本市の地域資源を活用した観光客に選ばれる商品の開発・販売などが考えられます。また、補助金に頼らない自立した組織運営を目指すとともに、観光による地域経済の活性化を図るなど、将来、本市の地域創生の大きな柱を担うことを目指しています。

DMOへの登録については、法人化した観光協会の運営体制を整えていく中で、まずは、観光地域づくりの方向性について、地域の関係者の意見をいただきながら、検討を進めていきます。
(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・空き家対策について